

# がん検診を受けてみませんか？

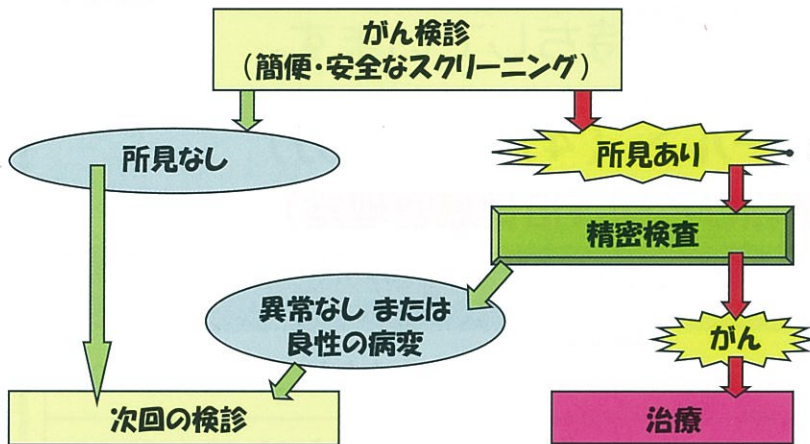
がん検診は、がんによる死亡率を下げる事が出来る確実な方法です。企業においても労働者の健康を考えた場合、がんを早期発見・早期治療することで、大事な人材を失うことなく働いてもらえることにつながり、とても重要です。

**がん検診の目的は、  
がんによる死亡率を下げること**

**検診の対象は無症状の人**

→ 死亡リスクを下げる検査が有用

専門的には、メリット（早期発見・早期治療）とデメリット（不要な検査や治療を招くことがある）の両方を考慮します



**検診と健診の違い**

**検診** = 特定の病気の早期発見

**健診** = 社会生活を考慮した健康状態のチェック

死亡率を下げる事が確認され、国が推奨するがん検診

[参考] 国立がん研究センター がん情報サービス [https://ganjoho.jp/public/pre\\_scr/screening/about\\_scr02.html](https://ganjoho.jp/public/pre_scr/screening/about_scr02.html)

臓器	方法	対象	間隔
胃	胃内視鏡	50歳以上	2年に1回
	胃部X線	同上（当面40歳以上、年1回も可）	
大腸	便潜血検査	40歳以上	1年に1回
肺	胸部X線と喀痰細胞診	40歳以上の喫煙者	1年に1回
乳房	視触診とマンモグラフィ	40歳以上	2年に1回
子宮頸部	細胞診	20歳以上	2年に1回

↓  
これらのがん検診は  
全国の市町村で  
住民を対象に行われています

1日の喫煙本数×喫煙年数  
= 400以上  
つまり「1日1箱×20年」  
の計算！



**重要！！**

- がん検診は、推奨された対象・間隔で受ける。
- 「要精密検査」と判定されたら、必ず医療機関を受診し、その後の検査や治療について相談する。